



ひとりひとりに、自分らしく輝く力を。

発達障害や
精神障害のある方たちの
「居場所づくり」と
「社会参加」を
お手伝いします。



わくサポ広島

一般社団法人

青少年ワークサポートセンター広島

TEL 082-569-5252

広島市東区光町2丁目9-30 竹本ビル204
受付時間(祝日除く) / 月曜日～金曜日 9:00～17:00

わくサポ広島

生活訓練や就労支援など一人ひとりの未来を見据えた、
きめ細かなサポート事業を展開しています。

2年間で基礎的な生活能力の維持と向上を目指す

生活訓練

(精神障害・発達障害・知的障害のある18歳以上の人)

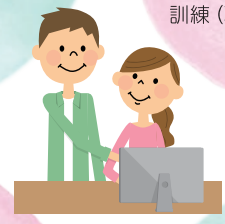
円滑な日常生活と社会生活が営めるよう、スポーツを利用した体力作りやコミュニケーション能力の向上などの基礎的な訓練を行います。

2年間で就労に必要な知識や技術を身につける

就労移行支援

(精神障害・発達障害・知的障害・身体障害のある18歳以上の人)

就労して社会的自立ができるよう、職業適正検査をもとに就労に必要な知識や技能向上のためのサポート、及び職場適応訓練(職場実習等)を行います。



無期限で就労機会や訓練サービスを提供

就労継続支援B型

(精神障害・発達障害・知的障害・身体障害のある18歳以上の人)

軽作業、パン作り、農作業等の職場実習を通じて、就労に必要な知識や技能の向上を目指します。

自主的な外出のきっかけづくりを提供

フリースペース提供事業

(広島県在住の概ね18歳以上の人)

ひきこもりがちな若者やそのご家族に対して、以下のような「ワンストップサポート」を行い、自宅以外のフリースペース(居場所)を提供します。

〈利用者の一週間の主な流れ〉
サポートプログラムイメージ

月曜日	火曜日
10:00～11:50 フットサル 地域清掃	10:00～11:50 サークル活動 簿記講座・計算練習 ふれあい農園
12:00～13:50 ランチミーティング 清掃	12:00～13:50 ランチミーティング 清掃
14:00～16:10 PC教室 絵画プログラム	14:00～16:10 ギター教室 SST
16:30～帰宅	16:30～帰宅

〈利用料金〉

◎生活訓練・就労移行支援・就労継続支援B型
厚生労働大臣が定める基準により算定した額の内1割を個人負担
※前年度収入によって異なります。
(例・前年度収入が無い場合は個人負担は0円となります)
※この事業は、「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスです。

◎ひきこもりがちな若者のサポート
1回 3,000円
※ただし1ヶ月最大30,000円(10回分)を限度とし、1か月の間に11回以上ご利用の方は11回目からのご利用は無料となります。

一人ひとりに応じた支援を「ワンストップサポート」で行います。

〈相談から就職(自立)までの主な流れ〉

STEP 1
相談支援
本人およびご家族のカウンセリング、スタッフとの人間関係づくりなど

STEP 2
集団適応支援
フリースペースでの活動、レクリエーションスポーツ活動、社会体験活動など

集団での適応力を身につけることで、自立への意識をより高めます。

STEP 3
就労・資格支援
就労体験、資格・技術習得活動、ハローワーク同行など

STEP 4
就職(自立)

- ◎訪問支援
- ◎個別相談
- ◎送迎の実施
- ◎食事の提供



- ◎各種プログラムの実施
- ◎体力作りプログラム
- ◎イベントの充実
- ◎キャリアコンサルティング



- ◎中間的就労の実施
- ◎職業実習の充実





「あきらめたくない」あなたへ。

ひきこもり問題で お悩みの方は、 どんなことでも ご相談ください。



ちょっとしたお悩みでもお気軽にこちらまで

むきあう。よりそう。みちびく。

ひきこもりケアセンター 0120-569-525

受付時間(祝日除く) / 月曜日～金曜日 9:00～17:00 ※電話・来所相談は無料です。

ひきこもりケアセンター

運営 / 一般社団法人 青少年ワークサポートセンター広島

ひきこもり問題にまつわるこんな疑問はありませんか？

ひきこもりって
どんな状態
なんだろう？

さまざまな要因により社会への参加が少なくなり、就労や就学など自宅以外での生活の場が長期間失われている状態を、「ひきこもり」と呼びます。ひきこもりは病気とは限りません。状態も人それぞれで、部屋から全く出られない人もいれば、買い物程度なら行くことができる人もいます。その原因は、「職場不適合」「病気」「人間関係の不信」「不登校」などが挙げられ、ストレスなどいくつかの要因が重なるケースも多く、誰にでも起こりうることなのです。

ひきこもりの
本人の気持ちって
どうなの？

ひきこもっている本人は、現状に満足しているわけではありません。「自分はダメな人間だ」と自分を責めていたり、「自分のことを邪魔に思っているに違いない」と家族の目線を気にしていたり、「働きたいけど、どうすればいいかわからない」と将来について不安を感じています。家族から見れば甘えていたり、怠けているように見えても、本人は「何かをわかってほしくて」あるいは「何かから守ってほしくて」、ひきこもっている場合も多いのです。

ひきこもりになる
きっかけって
あるのかな？

無気力でぼんやりしていたり、ひどくイライラしていたりする場合は、「何をしたいかわからない」「身体が思うように動かない」という状態になっていることが多いようです。また、家族に命令的な話し方をしたり、暴力を振るう。昼と夜の生活が逆転している、何時間も手を洗い続ける、同じことを何度も何度も確認したりすることもひきこもりの予兆と言えます。

家族は
どう接すれば
いいんだろう？

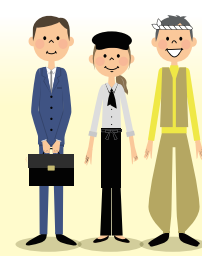
家庭は小さな社会です。本人は家族が自分のことをどう思っているのか、とても気になっています。部屋から出ることができなくても、家族の会話や足音に耳を澄ませていることもあります。解決を急ぐのではなく、「今どうしたいのか?」「どれくらいなら動けるのか?」など本人のペースにあわせることが大事。まずは、朝晩のあいさつからはじめてみるといいでしょう。

ひきこもりって
改善できるの
かなあ？

ひきこもっている状態は、本人はもちろん家族にとってもつらい時期です。でも、大丈夫。ひきこもりから回復できる日は必ずやってきます。ただし、そのためには「時間」と「周りの援助」が必要です。ひきこもりの状態を一番改善したいと思っているのは、間違いなく本人でしょう。その本人が前向きになるためには、まず家族が前向きになることが大切です。

解決するには
どうすれば
いいの？

抱えている問題を誰にも相談できずにいると、状況は悪化してしまう恐れがあります。そうなる前に、思い切って相談してみることが大切。世間の目を気にして隠してしまうと、本人はもちろん、家族も社会から孤立してしまいがちです。第三者に相談して現状の思いを吐き出せば、気持ちが楽になったり、解決への糸口が見つかるかもしれません。



相談から生活訓練、就労支援まで。 ワンストップで、自立をサポートする支援専門機関です。

